

いま、芦屋の人たちがすごいらしい。

特集 Make the next 新しい社会をつくろう

考える力・伝える力を子どもたちに

小野山純子さん 小野山康憲さん

子どもたちの自信につながる「コミュニケーション力」を磨く場を作っています。市内の小学校への出張レッスンも受付中です。今後は、子どもたちの「伝える力」で芦屋が活気づくよう、例えば街づくりや特産品づくりなどをテーマに、子ども主体の発表の場をサポートしていきたいです。(小野山純子)

プログラミングで「物づくりの楽しさ」を感じてもらい「考える力」を養ってほしいです。課題達成のため親子が「話し合い」を繰り返すと、論理的な考え方が磨かれます。それをアイデアの実現力に活かしてほしいです。(小野山康憲)

芦屋話し方教室

出会いや生活をより心豊かにするコミュニケーションを身につけませんか



ウェブサイト

芦屋親子プログラミング教室



ウェブサイト



「伝わる話し方」で子どもたちの自信を育みます(左上)プログラミングを通して論理的な考えを習得(左下)小野山純子さん小野山康憲さん(右)



リードあしやでミーティング(左上)カトリック芦屋教会でコンサート(左下)ジャズボーカリストでもある高橋リエさん(右)

街中に音楽と笑顔があふれる1日を

芦屋ジャズフェスティバル実行委員会 高橋リエさん

4月29日で第4回を迎える芦屋ジャズフェスティバル。芦屋の街で音楽に特化したフェスティバルを作ろうと「芦屋ジャズフェスティバル実行委員会」が発足しました。街と人が「いきいき」と交流する活気あるまちづくりを目指し、仏教会館やカトリック芦屋教会などの会場で、音楽のユニバーサルランゲージと言われるジャズを通じ、「国際文化住宅都市」の中にある文化と街と人の交流の場を作っています。インターナショナルミュージシャンやプロの演奏を体感することで、子供たちに夢を与え、高齢者が懐かしく楽しいと思える、市民が芦屋をもっと好きになるような芦屋らしい参加型フェスティバルを開催し、「芦屋魅力回遊感」を目指しています。街中で音楽と心が交流する「ボーダレス参加型」ジャズフェスティバルで芦屋の魅力を日本に世界に発信しようと活動しています。

芦屋ジャズフェスティバル

2017年から毎年4月29日にルナ・ホールなど、全会場入場料無料で開催しています。地元プロミュージシャンたちが立ち上がり、全て手作りボランティアで企画運営出演をしています。



ウェブサイト

違うことがふつうな社会へ

『ここから塾』芦屋 近沢幸治郎さん

外国にルーツを持つ人への「学習と集いの場」として、2018年4月にCoCoCaraを設立。『ここから塾』を西宮市内で開始し、2019年4月に芦屋で「学習者・支援者および地域住民との交流の場を」との思いからアットホームな雰囲気のある2教室を追加し始動しました。

今後外国人居住者の数はさらに増えると予想され、不自由のない生活環境を手に入れるには、民間レベルでの支援は不可欠です。特に次代を担う子ども達には、日本語が使えることで自己実現力を伸ばし、国際社会との関わりの中でたくましく成長してほしいとの願いを込めて活動に取り組んでいます。

国籍にかかわらず互いを理解し尊重し合える多文化共生社会実現に向けて、日本語支援にとどまらず、今後の活動をさらに発展させていきたいと考えます。学習者・ボランティア、共に募集中!



市内のピストロで、ランチをしながら交流を図る(左上)「ここから日本語教室」リードあしや(左下)「自らもその場から学び続ける気持ちで」と近沢さん(右)

『ここから塾』

芦屋・西宮地域に在住する外国にルーツを持つかたへ、日本語支援や教科学習支援を行っています。芦屋では大人向けに阪神芦屋駅近くのリードあしや教室(月曜日)、子ども中心にJR芦屋駅近くのラ・モール教室(日曜日)があります。



ウェブサイト